

出向く宮農レポート

～ズッキーニの立体栽培～



南部宮農センター東郷事務所
上田 萌

今回はズッキーニを学校給食に出荷している小野田さんの圃場を訪問し、生育確認を行いました。小野田さんは長期収穫を目的に立体栽培を行なっています。

立体栽培とは、地面を這わせるのではなく、支柱を使って上方向に誘引して栽培する方法です。

立体栽培は上に伸ばす為、通常の栽培よりも密植するので植え付け本数を2割程増やすことができ、泥はねや風による果実の傷が軽減されます。生育が進んだら下葉を落とし、風通しを良くすることで、病害虫の発生が軽減されます。

今回の訪問では、ウリハムシが葉を食害していました。ズッキーニが大きくなってからの食害なので今回はあまり深刻ではありませんが、生育初期に発生すると、その後の生育が悪くなるため注意が必要です。ただし、ズッキーニではウリハムシに登録のある農薬が無いため見つけた場合は捕殺するか、ネットなどで覆って物理的に防ぎましょう。



ズッキーニは8～9月上旬に種まきをする、秋まき栽培も可能です。秋まき栽培を行なうことで、11月上旬まで収穫することができます。ただし生育初期は、暑さで受粉がうまくいかないことがあるので人工授粉を行うことで収量を確保します。

今後も立体栽培と秋まき栽培を行ない、給食センターへの長期出荷を目標に栽培を進めていきます。